



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 恵 和 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 村 恵 式
(コード番号：4251 東証プライム)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 社 長 室 長 川 島 直 子
TEL. 03-5643-3783

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、今後の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状分析を行い、今後の取組方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。詳細については、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照下さい。

記

1. 対応の概要

当社は、昨年来のPBR 1倍割れは課題であると認識しております。

その要因は、ROEは10%以上で推移しているものの、業績のボラティリティの高さに加え、地球の絆創膏事業の撤退により会社への信頼が低下したこと、および、収益基盤である光学製品事業に関する情報開示も不十分であったことと考えております。

当社は、中期経営計画（FY2025-FY2028）を着実に実行し、ROE 15%以上・PBR 1倍超の達成を目指します。

なお、詳細については、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照下さい。

2. 進捗状況について

今後の進捗は、年次でアップデートいたします。

以 上

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

恵和株式会社



証券コード:4251
2025年11月14日

目次

1. 現状分析
2. 取り組み方針
3. 取り組みの具体的な内容

1. 現状分析

〈PBRの状況〉

		2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12
1株あたり純資産BPS	円	409.86	735.60	981.86	1,056.44	1,190.51
期末株価	円	1,065	3,020	1,555	1,280	1,003
株価純資産倍率PBR (株価/BPS)	倍	2.60	4.11	1.58	1.21	0.84

〈資本収益性の状況〉

	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12
ROE	12.1	24.1	29.4	10.1	12.9
CAPM	9.3	8.2	9.4	8.8	9.5
エクイティスプレッド (ROE - CAPM)	2.8	15.9	20	1.3	3.4

	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12
ROIC	7.8	15.1	18.4	7.3	13.3
WACC	7.2	7.4	8.1	7.6	8.1
EVAスプレッド ROIC - WACC	0.6	7.7	10.3	△0.3	5.2

〈株主資本コスト〉

リスクフリーレート

10年国債
利回り

+

ベータ

Bloombergより
修正込み
5年月次

×

リスクプレミアム

8%
ラッセル野村の
10年利回りを考慮

PBR

ROEは10%以上を維持しているものの、PBRが1倍を下回っている。これは、業績のボラティリティの高さに加え、地球の絆創膏事業の撤退により会社への信頼が低下したことによるものと考えている。また、収益基盤である光学製品事業に関する情報開示も不十分であった。

⇒成長に向けたエクイティストーリーの提示とIR活動による市場との積極的な対話に取り組む

資本収益性

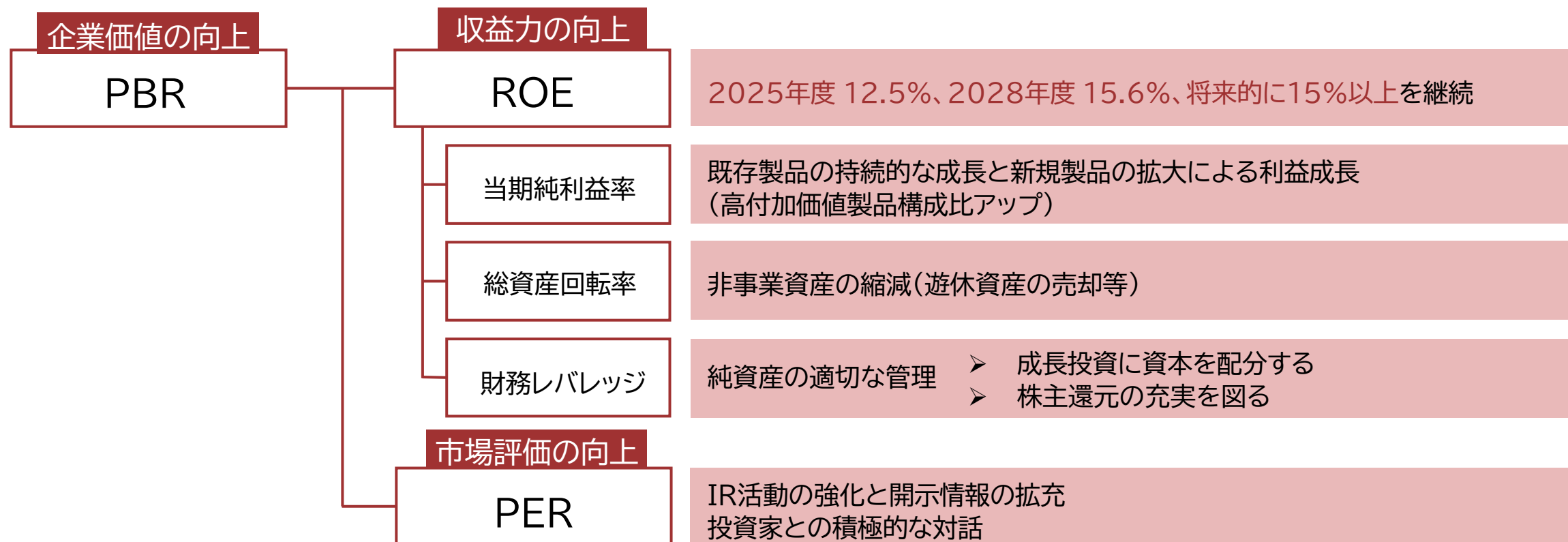
エクイティスプレッド、EVAスプレッドともにコロナ禍による業績変動※の影響で、変動が大きく、特に2023年度はEVAスプレッドがマイナスとなっている。

⇒資本収益性のさらなる向上と安定化にむけて利益とバランスシート双方の改善に取り組む

※光学製品事業において、コロナ禍による市場の在庫積み増し政策の影響で、2022年度の受注が増加し、翌2023年度はコロナ収束により受注が減少した。

2. 取り組み方針

ROEおよびPERを改善することでPBRの向上を目指し、「長期的な企業価値の向上」を実現します



		2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12
PBR	倍	2.59	4.10	1.58	1.21	0.84
ROE	%	12.1	24.1	29.4	10.1	12.9
PER	倍	22.8	20.8	6.1	12.3	6.9
当期純利益率	%	5.0	14.1	23.0	11.2	13.2
総資産回転率	%	89.5	78.1	72.6	59.9	68.9
財務レバレッジ	倍	2.70	2.17	1.76	1.49	1.41

3. 取り組みの具体的な内容

当社が掲げるCSV(Creating Shared Value)に基づき、事業を通じて経済的価値と社会的価値を創出することで、持続的な企業価値向上をめざします

収益力の向上

① 光学製品事業

- ・ PFASフリーをはじめとする環境対応製品
- ・ 高品質な従来型液晶で安定基盤を持つ“オパルス”
- ・ ハイパー液晶(直下型ミニLED液晶)で拡大中の“オパスキ”
- ・ 車載, ドローン, フォルダブル端末等に視野角制御, 反射防止, 傷つき防止性等の新機能を提供する“オプラム”

② 機能製品事業

- ・ クリーンエネルギー車向け バッテリー用特殊フィルム“ACE”
- ・ 透析治療用医療機器向け 医療用工程フィルム“メディテクト”
- ・ 新興国で需要が拡大するウレタンフォーム用工程紙“A!Prog-UF”

④ ガバナンス・コンプライアンスの強化

1)ガバナンス強化

- ・ 新経営体制への移行: 次期社長候補者の早期選定、喫緊の経営課題(欧米ビジネス, 技術開発, IR, ブランド構築等)に経験と実績を持つ取締役の補強
- ・ 執行部門への権限移譲による意思決定の迅速化

2)コンプライアンス強化

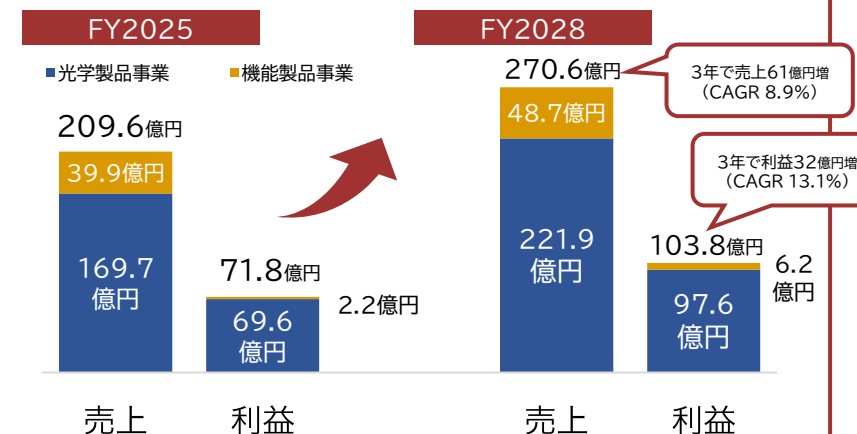
- ・ 監査等委員会設置会社への移行: 取締役会の監督機能の強化
- ・ 内部監査室の強化

③ ロジステイクス

顧客満足を高めるロジステイクス

- ・ 人的資本の強化(経営マインド、創造力の育成)
- ・ 高度システム導入、労働生産性向上(システム化・無人化・クリーン化)
- ・ フロント・ローディング(圧倒的高品質・JIT)
- ・ 欧米市場に対応するマーケティング拠点
- ・ 東南アジアへのロジ拠点

中期経営計画最終年度の目標売上・セグメント利益



3. 取り組みの具体的な内容

収益力の向上

➤ 財務戦略 ⇒ ROE(財務レバレッジ・総資産回転率)改善

- ・積極的な成長投資 高付加価値製品の生産能力向上(オプラム、車載、工程フィルム等)
- ・株主還元の充実 安定的+利益成長に伴う配当(DOE4%、配当性向30%水準を目安)
機動的な自己株式の取得、保有自己株式の消却検討 等
- ・保有資産の効率化 遊休資産売却

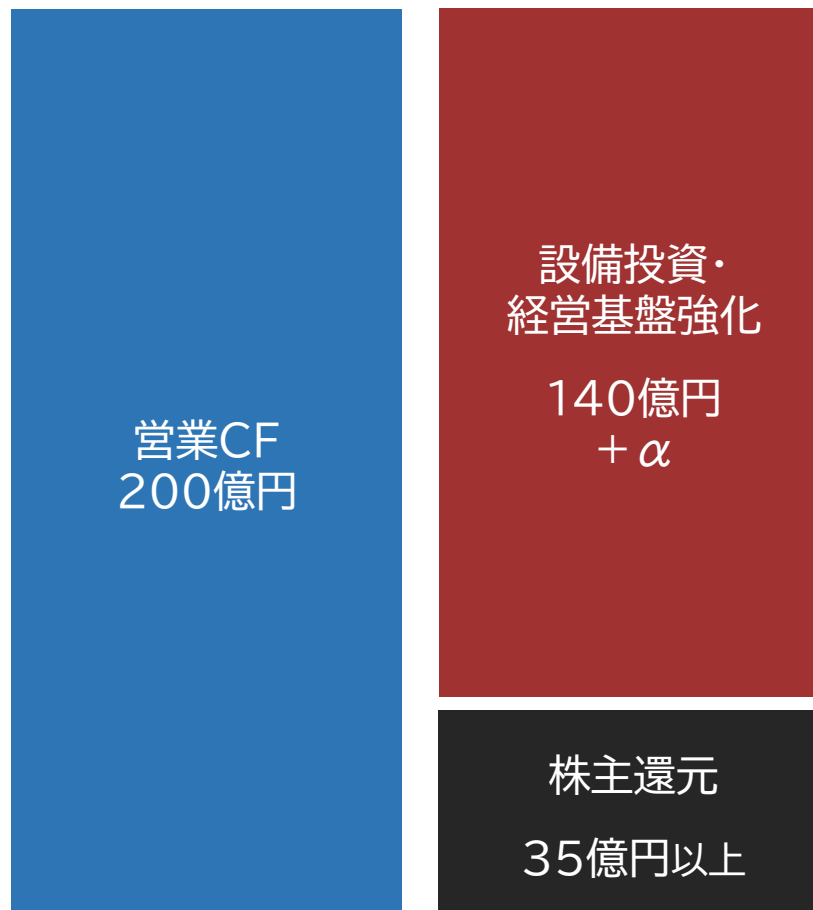
市場評価の向上

➤ IR活動の充実 ⇒ PER改善

成長に向けたエクイティストーリーを提示し、IR活動により市場と積極的に対話する

- ・財務、非財務情報の発信力拡充(投資家向け説明会、IRサイト刷新等)
- ・積極的な対話による株主・投資家との信頼関係の向上

着実な成長に向け投資を継続し、収益力強化と株主還元により、**ROE15%以上**を目指します



中期経営計画(FY2026-FY2028)



資料の取り扱い上のご注意

- ✓ 本資料は、恵和株式会社が、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する情報の提供を目的として作成したものです。
- ✓ 本資料は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの情報は、過去の事実ではなく、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 本資料の作成日以降に、新しい情報・将来予測の変更等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。